

探究演習

メディア情報4

第5回 ディベートの準備 (3) わかりやすい話し方

メディア情報コース

平居 悠（ひらい ゆたか）

到達目標

1. 大型望遠鏡建設計画の問題について自らの立場から論理的に説得力を持って説明できる。
2. 観測計画を自分の言葉でわかりやすく発表できる。
3. チームの目標を満足できる仕事の計画を協力して立てることができる。

前回

第1回	大型望遠鏡計画とハワイ先住民
第2回	対話の技術、ディベートの方法
第3回	ディベートの準備(1)立論、反駁、尋問
第4回	ディベートの準備(2)ロジックの検討
第5回	ディベートの準備(3)わかりやすい話し方
第6回	ディベートの実施 大型望遠鏡建設について
第7回	宇宙を理解する手法、観測計画の立て方
第8回	データ分析方法 データデータベースの使い方
第9回	問題解決の技術、プレゼンテーションの方法
第10回	プレゼンテーションの準備(1)データ分析
第11回	プレゼンテーションの準備(2)資料の収集
第12回	プレゼンテーションの準備(3)発表練習
第13回	発表会観測計画の発表

前回の目標

- 思考停止の罠の存在を知る。
- 素早く考え、反駁・再反駁ができるようになる。

前回の内容

ロジックの検討

立論の完成

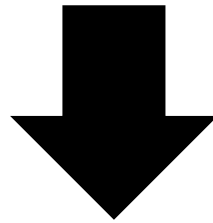
第二反駁

三角ロジックの落とし穴 1 : みえない第3点

人は、二つの物事があると、その二つを関係あるものとして結びつけようとする傾向がある。

思考停止の罠

安易な推測と決めつけ



みえない 1 点をみえたと思い込み、思考が停止してしまう。

ロジックの検討

強固なロジックを作るためには、
多角的な視点で繰り返しロジック
を眺めることが必要

第二反駁の構成

1. 反駁（相手への攻撃）
2. 再反駁（自分達の守備）
3. まとめ（総括）

今回

第1回	大型望遠鏡計画とハワイ先住民
第2回	ディベートの方法
第3回	ディベートの準備(1)立論、反駁、尋問
第4回	ディベートの準備(2)ロジックの検討
第5回	ディベートの準備(3)わかりやすい話し方
第6回	ディベートの実施 大型望遠鏡建設について
第7回	宇宙を理解する手法、観測計画の立て方
第8回	データ分析方法 データデータベースの使い方
第9回	問題解決の技術、プレゼンテーションの方法
第10回	プレゼンテーションの準備(1)データ分析
第11回	プレゼンテーションの準備(2)資料の収集
第12回	プレゼンテーションの準備(3)発表練習
第13回	発表会観測計画の発表

今回の目標

主張をわかりやすく話し、
相手に意図した通り伝えら
れるようになる。

今回の内容

わかりやすい話し方とは

ディベートの規則

試合をうまく運ぶためのヒント

審判の仕方

今回の内容

わかりやすい話し方とは

ディベートの規則

試合をうまく運ぶためのヒント

審判の仕方

理解されやすい立論には何が
必要か考えよう

わかりやすい話し方

- 1.構成（文をどう並べるか）
- 2.ことば（どの表現を選択するか）
- 3.音声・行動（どう伝えるか）

構成（文をどう並べるか）

1. メタ言語を使う
2. 順を追って話す
3. 通し番号を振る
4. 要点を繰り返す

ことば（どの表現を選択するか）

1. メリットとデメリットの見出しは短くまとめる
2. 漢字熟語を重ねすぎないようにする
3. 一文を短くする
4. 難しいことばの説明を行う
5. 引用箇所を明確にする

音声・行動（どう伝えるか）

1. 話すスピードにメリハリをつける
2. 前を向いて話す

1. 構成 ①メタ言語を使う

メタ言語：

話す内容の予告をしたり、終わりを宣言したりする表現。

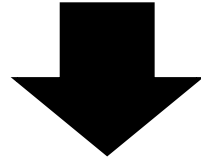
（例）

「このプランを実行することで発生するメリットは2点あります。」

「肯定側の第一のメリットについて二つの点から反駁します。」

メタ言語の使用方法

スピーチ冒頭で「全体像（何を、いくつ、どんな順で述べるか）」を示す（尋問を除く）。



肯定側立論の場合

「このプランを実行することによって発生するメリットを2点述べます。」

肯定側第一反駁の場合

「まず、デメリットは生じないこと、次にプランによりメリットが生じることを明らかにします。」

肯定側第二反駁の場合

「まず、否定側が挙げたデメリットの二つは生じないこと、そしてメリットは確実に生じることを明らかにして、最後に議論を総括します。」

1. 構成 ②通し番号を振る

メリット、デメリットに通し番号を必ず振る。

「メリット1」、「デメリット2」など。

「メリット1について二つの点から反駁します」と述べたら、「1点目の反駁は～」、「2点目の反駁は～」のように、今、何番目について話しているのかがはっきりわかるようにする。

1.構成 ③順を追って話す

反駁では、

1.相手への攻撃のスピーチ

2.自分たちの守備のスピーチ

をそれぞれ 1 点目、 2 点目と順を追って話す。

1.構成 ④要点を繰り返す

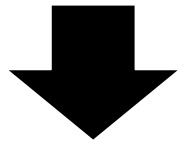
話のはじめと終わりの部分
の記憶は残りやすいので、
ここで要点を繰り返す。

反駁で時間が余ったときの対処法

最後に自分のスピーチを手短にまとめて話す

例：

つまり、凶悪犯罪は増加しないのです。以上のことから、死刑制度は廃止すべきであると肯定側は主張します。（20秒余り）



つまり、凶悪犯罪は増加しないのです。ここまでの議論をまとめます。死刑制度を廃止することにより、人権の尊重をすることができます。また、犯人に更生の機会を与えることができます。さらに、遺族は必ずしも死刑を望んでいるわけではなく、また、凶悪犯罪は増加しません。以上のことから、死刑制度は廃止すべきであると肯定側は主張します。

2. ことばの選択

① メリットとデメリットの見出しは短くまとめる

論題：アジア共通通貨を実現すべきである

見出しが長い例

否定立論：デメリット 1 は通貨圏内での経済格差が大きいので、非対称的ショックが起こる可能性があることです。...

肯定反駁：否定側はデメリット 1 として通貨圏内での経済格差が大きいので非対称的ショックが起こる可能性があることだと言いましたが、それは違います。

2. ことばの選択

① メリットとデメリットの見出しは短くまとめる

論題：アジア共通通貨を実現すべきである

見出しを短くまとめた例

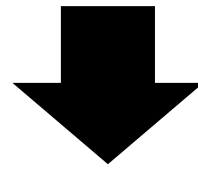
否定立論：デメリット 1 は非対称的ショック発生
の可能性が高いことです。...

肯定反駁：否定側はデメリット 1 として非対称的
ショックが起こる可能性が高いことだと言いまし
たが、それは違います。

2. ことばの選択

②漢字熟語を重ねすぎないようにする

犯罪被害者遺族が、死刑に処する希望を表明するのは至極当然のことです。



犯罪の被害者の遺族が、死刑を望むのは当然のことです。

2. ことばの選択 ③一文を短くする

一文が長いと、わかりにくくなることが多い。

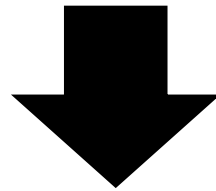
連用中止形（「行い」「行って」「調べ」「調べて」）や、「けど」「が」を何回も使うと文がどんどん長くなるので注意。

2. ことばの選択

④ 難しいことばの説明を行う

例：

ユーロ圏では、「非対称的ショック」が起きる事態が何度も起こっているのです。このことを見過ごすことはできません。



ユーロ圏では、**共通通貨圏内において特定の国にのみ発生するという**「非対称的ショック」が起きる事態が何度も起こっているのです。このことを見過ごすことはできません。

3. 音声・行動

①話すスピードにメリハリをつける

早口にならないように気をつける。

メタ言語はやや早く話し、主張したい部分や数値はゆっくり話すと、メリハリのあるスピーチになる。

3. 音声・行動 ②前を向いて話す

相手側に声を届ける気持ちを忘れず、時々前を見るようにする。

今回の内容

わかりやすい話し方とは

ディベートの規則

試合をうまく運ぶためのヒント

審判の仕方

「後出し」をしない

- 第一反駁、第二反駁で新しいメリット・デメリットを出さない
- 第一反駁、第二反駁において、立論で提示しなかった根拠を述べない
- 第一反駁で述べられることを、第二反駁にまわさない

制限時間を守る

ディベートの試合では、制限時間になったら、話している途中でもそのスピーチは強制的に終了となる。

スピーチは口頭のみで行う

パワーポイントを使ったり、
図表を見せたり、黒板に書い
たりしてはいけない。

スピーチの最中に助言を言わない

スピーチが始まったら、同じチームの人でも助けることはできない。

私語をしない

チームの人に確認したい
ことがあったら、作戦タ
イムまで待つ。

今回の内容

わかりやすい話し方とは

ディベートの規則

試合をうまく運ぶためのヒント

審判の仕方

ディベート進行表

	肯定側		否定側
1	①立論 ≪ 2分 ≫		
2		作戦タイム ≪2 分≫	
3			②尋問 ≪ 2分 ≫
4			※フローシート記入≪1 分≫
5			③立論 ≪ 2分 ≫
6		作戦タイム ≪2 分≫	
7	④尋問 ≪ 2分 ≫		
8		作戦タイム ≪2 分≫	
9			⑤第一反駁 ≪ 2分 ≫
10		作戦タイム ≪2 分≫	
11	⑥第一反駁≪ 2分 ≫		
12		作戦タイム ≪2 分≫	
13			⑦第二反駁 ≪ 2分 ≫
14		作戦タイム ≪2 分≫	
15	⑧第二反駁≪ 2分 ≫		

全体

1. フローシートを書く
2. 時間配分を考えておく

立論

重要なことばの定義をする。

尋問前の作戦タイム【尋問側】

質問することを決める。

1. 立論で聞き取れなかったところをフローシートで確認し合い、それでもわからないところ
2. 立論で十分に話されなかったこと、意味不明なこと、自分たちの反駁のために聞いておきたいこと
3. 主張を支える根拠が適切ではないと考えたところ

尋問

①質問の方法を変える【尋問担当者】

尋問では、応答者（立論担当者）からできるだけ多くの情報を引き出すことを心がける。

相手が答えに窮したら、「はい/いいえ」で答えられる質問で聞き直すか、次の質問に進む。

尋問

②反駁に使える（使われる）ところを
考える（担当者以外）

反駁で攻撃に使える、または相手に
攻撃されそうだった質疑応答が
あったら、フローシートの該当部分
に印をつけておく。

反駁

相手の立論や反駁が予測
と異なっても諦めない。

今回の内容

わかりやすい話し方とは

ディベートの規則

試合をうまく運ぶためのヒント

審判の仕方

以下の判定は適切か？

1. 私も肯定側と同じ意見ですから、肯定側の勝ちと判定します。
2. 否定側チームのAさんはとても優秀な学生で、彼が言うことに間違いはないですから、肯定側の勝ちと判定します。
3. 肯定側が出した資料は十分ではありませんでしたが、私が先日読んだ新聞には...と書かれており、この資料から、...ということができ、これが肯定側の主張を支える資料となります。よって、肯定側の勝ちと判定します。
4. 否定側のすべてのスピーチは制限時間内に収まらず、肯定のスピーチに対する反駁や再反駁が十分になされていませんでした。よって、肯定側の勝ちと判定します。
5. 肯定側も、否定側も素晴らしい議論を展開し、それぞれが主張する論題の重要性和深刻性は拮抗していました。よって、引き分けと判定します。

審判の基本的心得

1. 論題への自身の考えを捨てる
2. ディベーターへの個人的感情を捨てる
3. 試合で議論された内容だけを判定の対象とする
4. 規則違反に厳しく対処する
5. 必ず勝敗を決める

判定の仕方

1. 審判がフローシートを見ながら各自で勝敗を決め、その理由を考える。
2. 全審判の判定結果をすり合わせて最終的な判定を決める。

審判のスピーチの構成

1. ねぎらい
2. 肯定側への講評
3. 否定側への講評
4. メリットの判定
5. デメリットの判定
6. 全体の判定

ディベートの準備

- 宿題で記入したディベートフォーマットを共有し、立論の修正、追加で必要な資料などについて話し合う。
- フローシートに予想される尋問、反駁を記入する。
- ディベートのリハーサルを行う。

今回の内容

わかりやすい話し方とは

ディベートの規則

試合をうまく運ぶためのヒント

審判の仕方

今回の目標

主張をわかりやすく話し、
相手に意図した通り伝えら
れるようになる。

次回

第1回	大型望遠鏡計画とハワイ先住民
第2回	ディベートの方法
第3回	ディベートの準備(1)立論、反駁、尋問
第4回	ディベートの準備(2)ロジックの検討
第5回	ディベートの準備(3)わかりやすい話し方
第6回	ディベートの実施 大型望遠鏡建設について
第7回	宇宙を理解する手法、観測計画の立て方
第8回	データ分析方法 データデータベースの使い方
第9回	問題解決の技術、プレゼンテーションの方法
第10回	プレゼンテーションの準備(1)データ分析
第11回	プレゼンテーションの準備(2)資料の収集
第12回	プレゼンテーションの準備(3)発表練習
第13回	発表会観測計画の発表